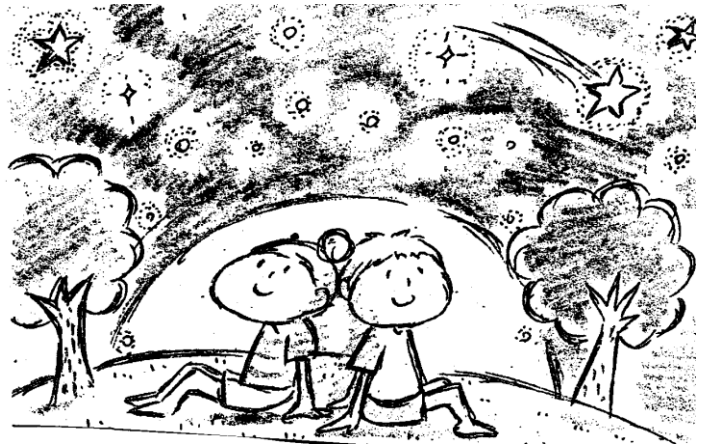


# 夏の夜空を見上げよう

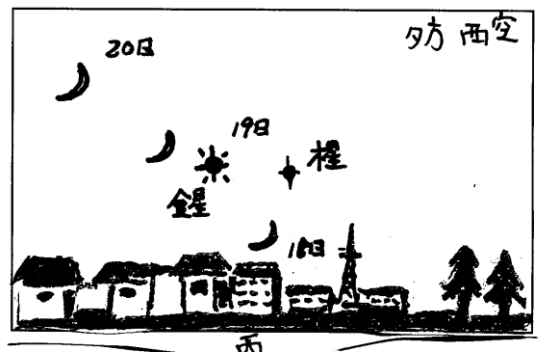
上石神井小学校しぜん探検隊  
2015年7月

つゆ空が続いています。でも、このつゆが明けると、いよいよ本番の夏の空がまっています。気象庁によると、7月は雨やくもりの日が多く、8月は、平年なみに晴れの日が多いという予報です。この夏は、7月31日が満月(ブルームーン)8月14日が新月です。月を観察するには、7月中と8月の休みの終わりごろ、天の川など星を観察するには、おぼんをはさんで、前後1週間くらいがよいでしょう。この夏も、都会でも見られる月や明るい星たちの接近がいくつかあります。もし高原や、海に出かける機会があったらぜひ夜空をながめて記録にとりましょう。このプリントを夏の夜空を観察するヒントにしてください。



## ★金星と木星が近くに～ 7月中旬～下旬

7月のはじめに大接近をした金星と木星ですが、まだまだ夕方の西の空に見えています。とくに7月18日(土)19日(日)には、日の入り後の西の低い空で細い月がそばにやってきますので、よいながめになります。地球から見える明るい天体ナンバー1,2,3(太陽のぞく)がそろうところをスケッチしましょう。つゆが明けているといいですね。



## ★JAXA特別公開 を見に行こう。

～ ちょいと遠いけど・・・自由研究に・・・ ～

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の特別公開が、相模原市の淵野辺キャンパスで2日間にわたって行なわれます。ふだんの見学では、見るできない施設の公開や、最新の研究内容をわかりやすく紹介してくれます。近くの共和小では、水ロケット教室もあります。(25日のみ)交通: JR相模線 淵野辺駅南口から無料バスあり(徒歩の場合20分)詳細は、

7/24(金) 7/25(土)  
両日 10:00～16:30 入場無料

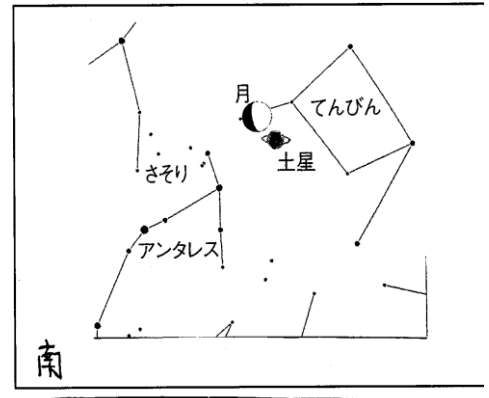


JAXA相模原 特別公開 で検索してください。

## ★月と土星が大接近!

(7/26 夕方から深夜)

26(日)の夕方から深夜にかけて、月のすぐわきに土星がやってきます。角度にして2度くらいです。月が明るいので、そばにある土星が肉眼で見えるでしょうか? 双眼鏡の視野にもすっぽり入るほど近づいています。うでをのばして、ゆび何本くらいはなれているのか調べましょう。左の方にある、さそり座のアンタレスも見つけましょう。1等星といっても暗い方なので、都会では、意外と見つけるのがむずかしいです。



## ★ブルームーン!を見よう

(7/31(金)夕方から一晩中)

7月の満月は、2日と31日の2回あります。このように、ひと月のうちに満月が2回あるとき、2回目の満月を「ブルームーン」と呼ぶことがあります。火山の噴火など、大気の影響で、月が青く見えることがまれにある。ということから、『めったに見られないめずらしいこと』の意味に使われるようです。月自体は、なんらふつうとかわりません。ブルームーンを2回見ると、幸福が訪れるといわれます。前回は2012年8月、次回は、2018年1月に起こります。やはりめずらしい月にはちがいません。



?



7/31  
(金)

## ★ペルセウス座流星群を見よう

～ 8月12日(水)夜半～13日(木)の明け方～

新月が14日なので、月明かりがなく、最高の条件でみることができます。また、流星のもとになるちりの濃い部分(スイトツルすい星がまきちらしたもの)に、13日午前3時ごろ接近するという予報も出ています。北東の方向を中心に、全天をながめていきましょう。極大は、13日15時ごろと予報されています。さあ、都会では1時間にいくつ数えられるでしょうか?



# ★おりひめ・ひこぼしをさがそう

～今年の<sup>でんとうきたなばた</sup>伝統的七夕は、8月20日（木）～

おりひめ、ひこぼしは、7月7日には天気  
が悪く会えなかったようです。旧暦の七夕の  
日（<sup>でんとうきたなばた</sup>伝統的七夕）は、8月20日  
です。ひと月前より、高さがぐっと高くなり、  
見やすい位置にやってきます。<sup>こくりつてんもんだい</sup>国立天文台  
などが呼びかけている『伝統的七夕ライトダウン  
キャンペーン』の日です。全国のライトアップ  
施設や各家庭の照明を消して、星をみよう、と  
いう運動です。「クールアースデイ」や  
「地球温暖化防止」などとの関わりを調べて  
みましょう。

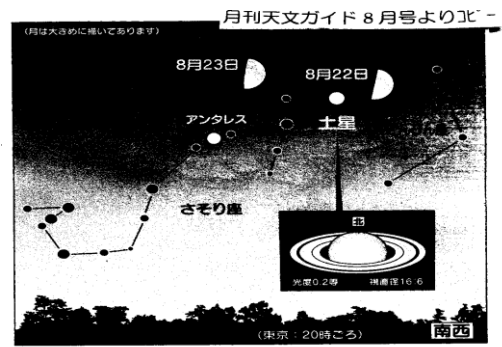


20日の前後、天気のよい日を選んで、お  
りひめ・ひこ星を観察して、スケッチしまし  
よう。ベガ、アルタイル、デネブは、どれも  
明るく、都会でも見えるはずです。

# ★月と土星が接近！<sup>せつきん</sup>夕方南西の空

～ 8月22(土) 23(日) <sup>よい</sup>宵のうち ～

先月26日にもこの<sup>せつきん</sup>接近がありました。22日は、  
双眼鏡の視野におさまるでしょうか？また、うで  
をのばして、ゆび何本分くらいはなれています  
か？23日（日）には、土星とアンタレスと月が  
三角形にならびます。真っ赤な<sup>ま</sup>さそり座のアンタ  
レスは見つかるでしょうか？ 22時すぎには、  
西の空にしずんでしまうので、早めに観察をしま  
しょう。



# ★<sup>こくりつてんもんだいの</sup>国立天文台野辺山特別公開

8月22日(土)

9:30~16:00

<sup>でんぱてんもんがく</sup>電波天文学のメッカ、国立天文台野辺山の特別公  
開があります。普段の見学では見られないところを  
公開します。スタンプラリーなどもあります。くわ  
しくは、<sup>の</sup>野辺山特別公開2015 <sup>けんさく</sup>で検索しましよ  
う。自由研究の課題になるでしょう。小海線野辺山  
駅から無料バスあり。中央道 長坂 IC から 20km。



# 夏の夜空

# のかんさつきろく

年 組 (                    )

気がついたこと    かんそう

かんさつした日 (   /   )

かんさつした時こく (                    )

かんさつした場所 (                    )



○ いちばん下に、かんさつした場所で見えるけしきをかく    ○ ほういじしんなどでほういをしらべてかく    ○ スケッチだけでなく、気がついたこともかく

ひとりでとおくにいったかんさつしてはいけません。かならずおとなといっしょにやりましょう。